

令和 4 年 3 月 31 日

令和3年度 特別の教育課程の実施状況等について

茨城県		
学 校 名	管理機関名	設置者の別
鹿嶋市立三笠小学校（外 11 校）	鹿嶋市教育委員会	公立

1. 特別の教育課程を編成・実施している学校及び自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学 校 名	自己評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等	学校関係者評価結果の 公表ウェブサイト名・URL 等
鹿嶋市立三笠小学校	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/	http://www.kashima.ed.jp/~mikasa-el/wp/

2. 特別の教育課程の内容

(1) 特別の教育課程の概要

これからの時代において必要とされるグローバルな視野を持った人材を早期から育成するため、小学校第1学年及び第2学年の生活科20時間を外国語活動に替えて実施する。

(2) 学校又は地域の特色を生かした特別の教育課程を編成して教育を実施する必要性

本市は常陸国一の宮鹿島神宮の門前町として栄え、発展してきた。また、2002年にはFIFAワールドカップの会場地となり、2020年には東京オリンピックサッカー競技が開催された。歴史的伝統とスポーツによる活力あるまちであり、「子どもが元気 香る歴史とスポーツで紡ぐまち 鹿嶋」を本市総合計画における将来像に掲げている。世界の人々とのコミュニケーションをとおして、本市の魅力を世界に発信していくことができるグローバルな人材育成をより一層推進することが、本市の発展と教育活動の充実に必要であると考え、教育課程の特別措置申請を行うこととした。

(3) 特例の適用開始日

2007年4月

2018年4月 変更

(4) 取組の期間

2030年4月まで

3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

(1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- | |
|---|
| ☒ 計画通り実施できている
☐ 一部、計画通り実施できていない
☐ ほとんど計画通り実施できていない |
|---|

(2) 実施状況に関する特記事項

(3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- | |
|--|
| ☒ 実施している
☐ 実施していない |
|--|

<特記事項>

(1) 第1学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
67.6%	23.8%	5.7%	2.9%

② ALT と英語ではなしたり、かつどうしたりするのはたのしいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
72.4%	19%	5.7%	2.9%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
88.6%	9.6%	0.9%	0.9%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという 知りたい	あまり知りたくな い	知らなくてよい
73.4%	19%	6.7%	0.9%

(2) 第2学年児童による評価

① 外国語活動の時間は、楽しいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
63.1%	30.7%	5.3%	0.9%

② ALT と英語ではなしたり、かつどうしたりするのはたのしいですか。			
楽しい	どちらかという 楽しい	どちらかという 楽しくない	楽しくない
63.1%	35.1%	0.9%	0.9%

③ 英語を話せるようになりたいですか。			
話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになり たい	どちらかという 話せるようになら なくてもよい	話せなくてもよい
74.6%	24.6%	0.8%	0%

④ 外国のことをもっと知りたいですか。			
知りたい	どちらかという 知りたい	あまり知りたくな い	知らなくてよい
69.3%	22%	7.9%	0.8%

(3) 教職員による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
59.3%	38.9%	1.8%	0%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
75.9%	24.1%	0%	0%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化(生活, 習慣, 行事等)に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
61.1%	31.5%	7.4%	0%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。 (自由記述)			
・リスニング力の向上 ・外国語への抵抗を少なくすること。 ・外国文化への関心の向上 ・楽しんで話すこと ・挨拶などの簡単な会話に慣れること ・コミュニケーション能力の向上 ・慣れ親しむこと ・楽しんで話すこと ・インプット&アウトプット自己紹介を英語で発表 ・具体的にやっている事をホームページ載せてほしい ・だれも置いてきぼりにならない授業。 ・楽しさを知ること ・外国語によって異なる言語の一つとコミュニケーションが取れることの楽しさを感じてほしい。 ・外国語によって異なる言語の一つとコミュニケーションが取れることの楽しさを感じてほしい。 ・楽しく、日常生活に活かせるように			

- ・オンラインで他の学校の児童やALTとコミュニケーション活動
- ・外国語を身近なものと感じること
- ・リスニング能力の強化
- ・ネイティブ英語のヒアリング力の向上
- ・構えることなく英語や外国の文化に慣れ親しむこと。耳が英語の音に慣れること。
- ・外国語が楽しいと思えるような活動がいいと思います。
- ・難しく感じて英語を嫌いになってしまうことがないように、楽しむ、慣れ親しむことを前提とした学習。
- ・英語や外国の文化に慣れ親しむこと
- ・楽しんでもらいたい
- ・外国語の楽しさを感じられるような学習になること。
- ・自信をもってコミュニケーションする力
- ・楽しく歌う、フォニックスでアルファベットの音を知る活動もあるといい。
- ・外国語に対する嫌悪感をなくすこと
- ・コミュニケーション能力の向上
- ・外国語へ能力慣れ親しみ”
- ・英語になれ授業に積極的に参加できる態度の育成
- ・間違いを恐れずに楽しい活動
- ・英語への、抵抗がなくなること。
- ・英語に慣れ親しむこと
- ・外国語に慣れ親しみ、日常会話の中に多少なりとも活用されること。
- ・コミュニケーションスキル
- ・楽しさ、hearing力、積極性
- ・楽しく英語に親しみ、英語への興味が3学年以降につながる
- ・コミュニケーションを行う態度の育成
- ・子どもたちが英語に興味をもち、英語に慣れ親しむことを期待している。
- ・簡単な英会話文を使って友だちと会話を楽しむ事ができること。

(4) 保護者による評価

① 第1学年からの外国語活動の実施は、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成につながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
54.7%	34.7%	7.7%	2.9%

② 第1学年からの外国語活動の実施は、英語に慣れ親しむことにつながっていると思いますか。

思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
70.1%	27%	2.2%	0.7%

③ 第1学年からの外国語活動の実施によって、外国の文化（生活、習慣、行事等）に対する興味・関心が高まっていると思いますか。			
思う	どちらかというと思う	どちらかというと思わない	思わない
43.4%	40.9%	12.4%	3.3%

④ 第1学年及び第2学年からの外国語活動に期待することは何ですか。 (自由記述)
・児童が英語を楽しむことが1番大事だと思います。 ・日本語以外の言語でもコミュニケーションがとれることを理解し、色んなことを表現しようとする知識を身につける。 ・授業の時間以外にも、外国語に興味を持ってくれたらいいなと思います。 ・外国語の習い事をしている子、していない子の差もあるので、外国語活用が多い子を中心にグループ学習などでより興味関心を持ったり楽しんだりして欲しいと思います。 ・日常会話レベルの外国語力が身につけば良いと思いますが、それ以上に日本語の教育を今以上に大切にしていくこと。 ・会話を多く取り入れて欲しいと思いました。 ・楽しみながら英語を学べるといいと思います。 ・なれひたしむ。 ・楽しみながら英語の基礎が身につく活動を期待します。 ・外国語活動が、まずは、楽しいと思える事。難しいからいや等ならないように。 ・早くから英語を聞いたり話したりして発音良くなれたら良いと思う ・楽しんで英語に触れ合うこと ・英語耳を育てること。 ・アルファベット や 単語を 沢山、学ばせてほしいです。 ・とにかく楽しむこと。 ・普段の生活の中でも英語の単語が出てくるようになること。 ・積極性 ・英語を楽しんで身近に感じて欲しい。英語の歌を歌って耳から発音を聞いて欲しい。 ・遊びながら楽しくコミュニケーションが少しずつ出きるようになるといいなと思います。 ・英語を身近に感じて欲しい。 ・日本人以外とも触れ合って、苦手意識や差別するような気持ちを持たないこと。英語を楽しむこと。 ・簡単な挨拶-日常会話程度を話せること ・抵抗感や先入観を持たずに、楽しく学べること。 ・外国語への興味の育成 ・苦手意識を持たずに前向きに楽しく外国語に触れ合う機会を作って頂けたら嬉しいです。

- ・もうすでに英会話等習っていてできる子ばかりが活躍する授業だと、習っていない子が自信を無くしてしまうような気がするので、全員参加型のレクリエーションなど、特に一、二年生くらいは遊びのような感じで良いような気がします。”
- ・外国語が楽しいと思うこと
- ・英語に慣れ親しんでほしい。
- ・低学年のうちから外国語を身近に感じれるのは良いと思う。
先ずは、素の英語に触れ、聞き慣れる事じゃ無いかな？と個人的に思います。
授業の時間だけではなく、日常の中で英語の先生と、ちょっとした会話でも（質問や疑問、雑談等々）を、先生が通常に、普通に話す英語を聞き取り会話が展開できるになれば、今よりも、もう少し『グローバルを視野に』の世界に近付くのかな？と言う気がします。
- ・英語を楽しむ気持ち
- ・英語が嫌いになりかねないので、やめてほしい
- ・外国人と話す事の抵抗感を減らす
- ・週に1回ではなく数回に増やして欲しいです
- ・中学、高校と難しくなっていく為、今は外国語活動で苦手にならないように、楽しさを教えて欲しいと思っています。
- ・授業というより、外国の先生日本人の先生と歌ったり踊ったりして英語は楽しいものだと感じて欲しい。
- ・引き続き、英語は楽しい物だという遊びと学びにプラスして学習をしてほしい。
- ・特に、英語圏の先生の発音を肌で感じてもらいたい。スピードや発音を、沢山聞いて話してほしい。
- ・一年生から外国語活動をしてもらって本当に感謝しています。子供もとても楽しいと言っています。鹿嶋市だけの取り組みかもしれませんが、親としては学びの場を作っていただいてありがたいです。引き続きよろしくお願いいたします。
- ・学びたい、知りたいと興味をたくさん持てるように、わかりやすい指導をしていただき自信につなげてほしい。
- ・楽しんで学ぶこと
- ・わからなくても、楽しめる時間になればよい。
- ・低年齢からの学習による、語学習得。日本以外の国々への興味を持ち、視野を広げる。
- ・外国語に親しむ。多文化への興味、理解
- ・間違いを恐れずに、自分から積極的に発信しようとする力を育成してほしいです。
- ・せっかくネイティブの先生がいるので、英語の授業中はオールイングリッシュ
- ・使える簡単な英会話、語彙力
- ・日本語を介さずとも授業を受けることに対しての抵抗感をなくす。意味がわからなくてもオールイングリッシュを期待。外国人教師をメインにした授業で、日本人教師はどうしても手助けが必要な場合を除いて、授業をリードしなくてよいと思う。また、ローマ字は英語を日本語読みになる癖をつけさせてしまうから、習わせるのはまだ早い。
- ・楽しい授業を期待します。
- ・外国語という枠で取り組むよりも、日本と外国の文化を比べる中で、その一要素として、「外国語を話してみよう」というスタンスくらいの方が、生活科の授業

内で取り組む意義があり、また、国際感覚の醸成という目的にも資すると思います。

- ・苦手意識を植え付けないようにすること。楽しい、という気持ちを育ててほしい。
- ・英語に親しむ
- ・日本の文法的なものではなく、実際に使用されている英語を学ばせたい。
- ・英語脳、英語耳の習得。
- ・英語が身近に感じる事が出来て、勉強という前に楽しんで取り組めること。
- ・日本語英語ではなく、ネイティブの発音に慣れ、英語を話すことが恥ずかしいと思わないような環境で学べたらいいな。と思います。
- ・今のところ MET はとても楽しいようで、覚えた英語を嬉しそうに教えてくれています。
- ・英語に対する苦手意識を持たないようにするきっかけやとっかかりができてくれたら嬉しいです
- ・私が学生の頃は、外国人講師の方が何を喋っているのか全然分からず、あまり身にならなかった気がします。低学年の場合、その都度通訳が必要かなと感じました。
- ・海外の方とコミュニケーションが取れることは、とても良いことだと思います。
- ・まずは外国語を楽しむこと、次に日常会話の習得(簡単な Q&A)を期待します。
- ・英語力の向上
- ・他言語や他国の文化を知ることは楽しいと思えるようになってほしい。
- ・家庭では教えてあげられないので学校の授業で英語を早めに教えて頂けると有りがたいです。
- ・英語に親しみ、異文化に触れることで、視野を広げることができると感じます。
- ・英語塾などに通っている子と通っていない子とで差がないよう、皆が楽しく英語を学べるといいなと思います。
- ・ネイティブの発音に慣れることや日本語を話す人以外に対しても臆せず接する姿勢が身につくと良いと考えます。リスニングだけでなく、簡単な言葉でも言葉を発する授業であってほしいです。
- ・会話を中心にやっていただきたい。
- ・英語に、興味を持って英語に慣れてもらえたらいいと期待します。
- ・楽しく活動に取り組んでほしい。
- ・外国人とのコミュニケーションで物おじしない人の成長
- ・1. 2 学年は日本語をしっかりと教えてほしい。
- ・英語を楽しみと思えるようになること。多様な文化があると知り、興味を持てるようになること。
- ・楽しく学び苦手意識をもたないようにする。
- ・回数を増やして授業というより遊びのような感じで受けられると良い
- ・ヒアリングが間違っていて覚えているのと、意味がわからないまま覚えている点があるみたいなので改善していただけたらいいかと思います。
- ・聞く力、話す力を伸ばすこと
- ・ヒアリングを大切にしたい
- ・英語に対する苦手意識がつかないような指導。
- ・外国語を身近に感じ、慣れ親しむこと。
- ・外国語に触れる

- ・英語だけではなく他国の文化も含めて、優劣の選別ではなく、先ずは興味を持たせて、高学年で差をつけても良いと思う。
- ・早くから耳にして、会話に慣れることで、ネイティブに近い発音ができるようになることに期待したいです。また、あいさつや自己紹介、よく使うフレーズを感覚的に身につけて、難しいという苦手意識をなくすことです。
- ・とにかく外国語への苦手意識を無くしてほしい。
- ・英語の授業のことを聞いてもあまり反応はなく、せっかくやっているのにもったいないなと感じる。最初の問にあったように、積極的なコミュニケーションや表現力に繋がればよいなと思う。
- ・低学年のうち、慣れ親しめることができれば十分です。
- ・授業中に子供達が楽しければそれで良いと思います。それ以上は望みません。”
- ・英語を楽しむこと
- ・よりネイティブな発音を聞く事。
- ・实际的にコミュニケーションツールとなる英語力の学び
- ・外国語に触れる事と習得する事。
- ・外国語への興味、関心と楽しみ
- ・外国語に興味を持ち、好きになること。楽しむこと。

4.

実施の効果及び課題

(1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している学校の教育目標との関係

【効果】

ALT が、レスンプランだけでなく、児童が楽しめるクイズやゲームの作成に取り組んでいる。

ワークシートを活用して、会話を通して学ぶ活動を行っている。

【課題】

授業に対して参加できない・しない児童が一定数いる。

学習した内容や学習状況について、児童だけでなく保護者にも周知を図るようにする。

(2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

パフォーマンステストの様子を見ると、テストの前の授業時間などに練習時間をとっても練習量が不十分であった。自主的に練習する姿勢もあまり見られず、テストの結果も向上していない。

即興性がなく、話題が深まらない。スモールトークの時間を1分間与えても活動が充実しない。分からないことを聞かない等学習に対してどうすれば自分ができるようになりたいという意欲をさらに高めたい。

6年生が受験した GTEC Junior では、昨年度に比べて全体のジュニアグレードが3から4へ改善されている。しかし、本校では、「聞く力」の「会話での質問の答えがわかる」の部分の正答率は47.1%と半分に満たなかった。

5. 課題の改善のための取組の方向性

低学年の児童が外国語活動に意欲的に参加できるように、英語専科教員や ALT だけでなく、学級担任や他の先生方の協力を得ながら複数の目によるサポート体制を整える。また、児童の学習内容の理解が深まるように、自己紹介や TPR を毎時間行い、定着を行う。各学校のホームページを活用して、年間の学習計画や授業での様子などを紹介し、保護者に理解してもらえる手立てを行う。

テスト前にパフォーマンステストを実施し、児童に A の評価と B の評価の違いについて提示し、自分でレベルを選択させる。また、3～4年生では、非言語（ジェスチャー、アイコンタクト、クリアボイス）等に積極的に取り組ませていく。

6年生は中学生になっても自信をもって英語学習に取り組んでいくことができるように、教科書だけでなく、navima や English 4 skills の問題を活用するなどして多様な問題を行い、4技能の向上を目指していく。